



# News Release

2023年3月31日

日本製鉄株式会社

## AMNS Luxembourg Holding S.A.の LOAN AGREEMENT の締結について

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）と ArcelorMittal（アルセロールミittal、以下、AM）がインドにおいて展開している合弁事業 ArcelorMittal Nippon Steel India Limited（以下、AM/NS India）の親会社である AMNS Luxembourg Holding S.A.は、株式会社国際協力銀行（以下、JBIC）、株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行および欧州みずほ銀行との間で、2023年3月30日に、総借入額 5,000 百万米ドルの“LOAN AGREEMENT”（以下、JBIC 協調融資契約）を締結しました。

JBIC 協調融資契約による調達資金は、AM/NS India における既存ハジラ製鉄所の未使用土地を活用した鉄源・熱延設備等の新設・増強に必要な資金の一部として充当されます。

インドの鉄鋼市場は、世界の中でも経済成長と人口増により着実な成長が見込まれる中、「Make in India」政策の下、鉄源も含めた自国産化が進展しているマーケットです。AM/NS India は、現在インド国内において粗鋼生産量第 5 位の鉄鋼メーカーですが、これらの能力増強を通じて、今後のインドマーケットでの需要拡大を捉え、市場プレゼンスの確保を図ってまいります。

また今回の設備新設・増強は、日本製鉄と AM が開発中のカーボン・ニュートラル技術のトランスファーが可能となるプロビジョンを備えた方案としています。

### 【ハジラ製鉄所での鉄源・熱延設備等の新設・増強の概要(2022年9月28日公表済)】

製鉄工程 : 高炉 2 基、焼結設備 2 基、コークス炉 3 炉団 等

製鋼工程 : 転炉 3 基、連続铸造機 2 基 等

熱間工程 : 熱延ライン 1 基 等

増強能力 : 粗鋼能力増約 600 万トン/年

(増強後のハジラ製鉄所の粗鋼能力約 1,500 万トン/年)

稼働時期 : 第 I 期 2025 年後半(第 2 高炉および関連設備、新製鋼、新熱延設備)

第 II 期 2026 年前半(第 3 高炉および関連設備)

投資額 : 約 4,100 億インドルピー (約 7,300 億円)

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2977、2135、2146、3419

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL  
Green Transformation  
initiative

NET ZERO